

当院で不整脈アブレーション治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2024年10月21日から2025年3月10日までに不整脈アブレーション治療を受け当院一般病棟で入院となった患者さん

【研究課題名】不整脈アブレーション後の安静時に生じる腰痛の実態調査

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 看護部 看護師 橋本 昂希

【研究の目的・意義】

アブレーション治療を受けた患者さんの診療情報を用いて、カテーテル後の腰痛発生実態を把握するための研究を実施しております。この研究は、将来的に腰痛の予防や管理方法の改善に役立つことに繋がります。

【利用する診療情報】

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI
- 2) カテーテル治療情報：カテーテル室入室時間、カテーテル室退室時間、対象疾患名、術式、使用薬剤
- 3) 痛みを表すスコア：カテーテル室入室時から圧迫解除時まで測定されたもの。
- 4) 病棟で圧迫止血中に使用した鎮痛薬の種類
- 5) カテーテル穿刺部状態：出血・血腫・発赤の有無
- 6) 血液データ（血清アルブミン、血小板数、フィブリノーゲン）

【情報の管理責任者】

国立循環器病研究センター 理事長

【研究期間】 研究許可日より 2028 年 3 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2025 年 4 月 17 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 看護部 看護師 橋本 昂希

電話：06-6170-1070